

定例記者会見市長挨拶

令和2年11月25日（水）午後2時から 庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

今年も残すところ1か月余りとなり、本日が、今年最後の定例記者会見となりました。記者の皆様には、今年一年間大変お世話になりました。この場をお借りいたしまして、御礼を申し上げます。また、先日は、初詣の分散参詣の推進など、地域が一体となり取り組んでいる迎春対策について記事を取り上げていただきありがとうございました。重ねてお礼を申し上げます。

さて、本市の今年1年を振り返りますと、3月には国際医療福祉大学成田病院が開院いたしました。数多くの先進医療機器を備えるとともに、各分野の経験豊富な医療スタッフがそろった病院が開院し、市民の皆さまが身近なところで質の高い医療サービスを受けられるようになっております。今後も国際医療福祉大学との連携・協力を強化するとともに、附属病院を核とした将来的な医療産業集積に関しても調査、研究を継続してまいります。

4月には、新型コロナウイルス感染症の市独自支援策の第1弾として、子育て世帯への臨時給付、市内中小企業への緊急支援給付金の支給、医療機関への支援という3本を柱とする支援を行いました。

6月には、市独自支援策の第2弾として、地域経済の活性化を目的としたプレミアム付商品券の発行、ひとり親世帯や介護サービス事業者など、影響を大きく受けている家庭や事業者の支援を行いました。

7月には、市役所窓口でキャッシュレス決済を導入いたしました。窓口の混雑緩和や市民の利便性の向上とともに、現金の受け渡しによる感染リスクの低減が図られました。

9月には、千葉県最大級のご当地キャラクターイベントである「ご当地キャラ成田詣」を開催いたしました。感染症対策そしてウィズコロナ時代の新しいイベントの形としてYouTubeでの生配信や、事前抽選制での現地観覧、市川海老蔵丈とのオンライン対談など、本市から日本各地に元気を届けました。記者の皆様をはじめ、関係者の皆様のご支援により、イベントを盛会裏せいかいりに終了することができましたことを、心より感謝申し上げます。

そして、10月には、市独自支援策の第3弾として、高齢者へのPCR検査等費用の助成、迎春対策事業として電子マネー「ペイペイ」によるポイント付与のキャンペーン、市内の病院などに勤務する医療関係者などへ慰労金の給付、市内の介護サービス事業所や障がい福祉サービス事業所などに勤務する職員への慰労金の給付、工賃が一定程度減少した就労継続支援B型事業所に通所している利用者への応援金の給付などを行うため、補正予算を調製し、臨時議会を招集いたしました。

成田空港関連では、今年度上半期における旅客数の速報値では、前年同期比で94%減の約135万8千人、うち国際線旅客数は同97%減の約51万5千人と、いずれも開港以来過去最低のとなるなど、新型コロナウイルス感染症により大きな影響があり、国際線が中心の成田空港では、引き続き深刻な状況が続いております。このようなことから、11日に、千葉県知事と成田空港圏自治体連絡協議会において、成田空港と羽田空港のバランスを考慮した国際路線の再開、厳しい状況が続く空港会社や航空関連事業者への支援を求める要望を国土交通大臣へ行いました。

こうして振り返りますと、新型コロナウイルス感染症への対応に終始した1年でありましたが、依然として新型コロナウイルスの国内での新規感染者数は増加しており、予断を許さない状況が続き、対応は長期化しております。

コロナウイルスと共存をしていかなければならない現状において、市としましても工夫をしながら、感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図るため、引

き続き対策を講じてまいります。

それでは、12月議会に提案を予定しております議案は、人事案件1件、条例案件9件、契約案件5件、市有財産の取得案件1件、指定管理者の指定案件7件、補正予算7件の合わせて30件と、報告18件でございます。

詳細につきましては、この後、「総務部長」並びに「財政部長」よりご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上、本日の定例記者会見にあたっての挨拶とさせていただきます。